

第1回小さな自然観察クラブ 春の名寄公園を歩こう

5月13日（土）に今年度の小さな自然観察クラブ第1回「春の名寄公園を歩こう」を開催しました。博物館で開会式を行い、これから12月までいっしょに活動する人たちと顔を合わせて自己紹介をしました。これからみんなで仲良く活動していきましょう。

開会式を終えて、早速、虫取り網を片手に名寄公園での観察が始まりました。5月に入って気温が20度を超えるのは久しぶりで、雲もほとんどない晴天の中での観察会となりました。ヒメギフチョウやモンシロチョウなどのチョウや昆虫が多く飛び交い、虫取り網を振って走る姿が見られました。

エンレイソウやアズマイチゲなどの春の植物やアオサギの営巣地を観察しながら、名寄公園の外周をぐるっと周ってエゾヤマザクラの木の下で集合写真を撮影しました。

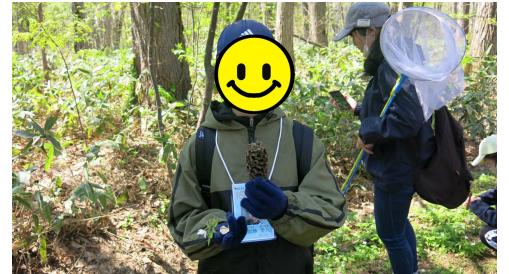
その後、虫取り網を使って池の中の生物を捕獲してみました。オオタニシやシマエビ、ヤチウグイやモツゴ、ミズカマキリ(珍しいようです)などの水棲昆虫や、ドジョウを捕まえた子もいました！池にいる生物たちを捕まえようと、ほぼすべての子どもたちが池の中をガサガサしていました。冬が明けて、桜が咲き、緑が少しずつ増え、多くの生物が見られる名寄の自然。これからも色々な自然に会いに行きましょう。



みなさん、はじめまして



なにを捕まえたかな？



エゾリスが食べた後の
マツボックリを発見！

第2回小さな自然観察クラブ 松山湿原観察会

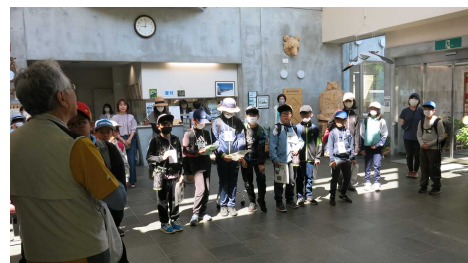
6月25日（日）に第2回「松山湿原観察会」を開催しました。今回は、名寄市をはなれて美深町の松山湿原までバスで向かいます。

松山湿原は、枯れた植物が分解されず泥炭^{ていたん}になったものが、長い年月をかけて積み重なって大きく盛り上がり、地下水ではなく雨水で植物が育つ湿原です(高層湿原といいます)。標高797m、広さ25haの湿原で、日本の重要湿地500のひとつとされており、風雪の影響で変わった形になったアカエゾマツの姿を見ることができます。

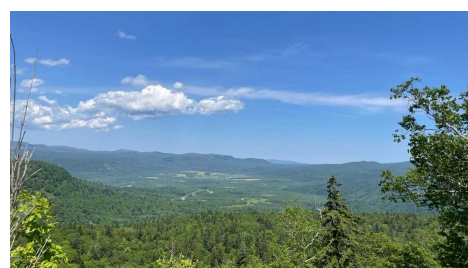
松山湿原の駐車場に到着後、900mの登山道を歩きます。道幅が少し狭く、ところどころにあるゴツゴツした石を登って、途中の展望台でひとやすみ。美深町は27.5℃まで気温が上がり、暑く長い道のりでしたね。

登りきると湿原一面が見渡せて、青い空と緑の木々が広がっています。ワタスゲやモウセンゴケなどの植物が見ごろでした。木道を歩きぐるっと一周して記念撮影📷ゆっくり登山道を降りて、みんながお待ちかねのお弁当タイム♪いっぱい歩いた後のごはんは何より美味しかったと思います。

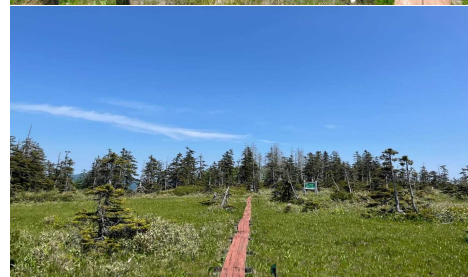
来月は人気のピヤシリ川で川釣り体験です。次回もお待ちしています！



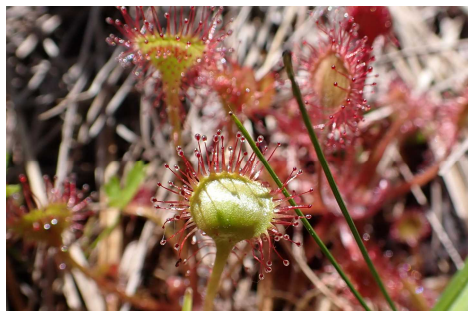
これから美深に行きますよ



展望台からのながめ



松山湿原はこんな感じです



食虫植物のモウセンゴケ

小さな自然観察クラブ 川釣り体験

7月8日（土）に第3回観察クラブ「川釣り体験」を開催しました。観察クラブでは人気の回で楽しみにしていた方も多くいたことでしょう。当日はとても暑く、天気にも恵まれて釣り体験をすることができました。

ピヤシリ川に着いたら、釣り竿とエサのイクラを受け取り、それぞれの釣り場に分かれてから釣り体験を始めました。釣り竿をとめている輪ゴムを外し、巻いている釣り糸を伸ばして、エサになるイクラを針につけて、これで準備完了！

釣り糸を水面にたらし少し待つと、おっ！という声が上がリ、早速ヤマメが釣れました！その後も次から次に魚が釣れてニッコリ☺

今回、それぞれの班で見られた魚の種類は違ったかもしれませんが、ヤマメやウグイ、カジカが釣れていました。また、釣り以外にもアクアスコープで水中をのぞいたり、川の石をひっくり返して何かいないか探したりとそれぞれの時間を過ごしました。

さて、川釣り体験はみなさん楽しめましたか？これからレジャーの季節になりますが、川や海など水辺に近づくときは、ケガや事故にあわないように十分気をつけて楽しむようにしましょうね。



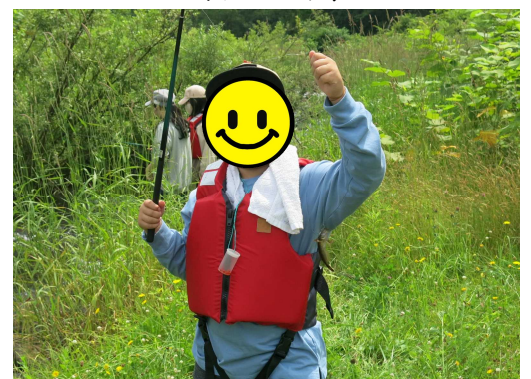
さあ、釣るぞ！



お魚ゲット🐟



釣りのようす



釣れたよ〜🐟

第4回小さな自然観察クラブ 黒曜石探し

9月2日(土)に第4回小さな自然観察クラブ「黒曜石探し」を開催しました。川での活動ということもあり当日は程よい涼しさで、天気にも恵まれて黒曜石探し日和でした。

今回は、ふうれん望湖台自然公園の横を流れている忠烈布川で活動がありました。前日に雨が降っていたこともあり、いつもより川の流れも強かったのですが、みなさんひるむことなく川を突き進み黒曜石を探していました！

川の流れにも負けず、好奇心をもって黒曜石を探す皆さんの姿はとってもカッコ良かったです。そんなことを感じている間に「これ黒曜石？」といった声が上がりました。次第に手一杯に黒曜石をもつ人や、ポケットが黒曜石でパンパンになっている人も！そして、無事に全員が黒曜石を発見することができました。また、釣り以外にもアクアスコープで水中をのぞいたり、網を使って魚やエビ、ヤゴを捕まえたりなど生物ともふれあい、自然をたくさん楽しむことができました。

さて、家に持ち帰った黒曜石はそのまま眺めてもいいですし、ご家族に協力してもらって割ってみてもいいかもしれません。きれいな黒曜石を見て、旧石器時代の人々が使っていた道具を身近に感じてください！夏も終わりに近づいていますが、引き続き熱中症などに気を付けて楽しんでくださいね。



黒曜石はどこかな～



これって黒曜石...?



これで水中も見るよ



黒曜石ゲット！！

小さな自然観察クラブ ビーチコーミング体験

10月15日(日)に第5回小さな観察クラブ「ビーチコーミング体験」を開催しました。バスに乗って、いざ紋別市コムケ湖海岸へ！

今回は、北海道立オホーツク流水科学センターの桑原尚司くわはらたかしさんを先生にお招きして、ビーチコーミングについて教えていただきました。

みなさん、ビーチコーミングとは何か覚えていますか？「ビーチ：砂浜」「コーミング：くし」で「浜辺をくしでとくように物を拾い集める」ことで、今回はそれぞれが砂浜で気になったもの・好きなものを拾って楽しむことが目的です。

さっそく海岸に降りて砂浜を歩きます。潮のかけりや砂浜の感触に声を上げる子、「海だ〜」と波打ち際まで近寄って何が落ちているか探す子など海を楽しみながら、「これは何だろう？」「こんなの拾ったよ！」と色々なものを集めます。

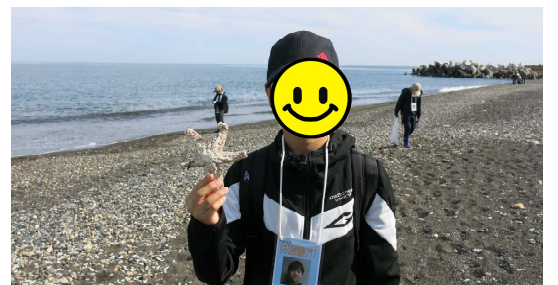
拾ったものを紹介するお披露目タイムでは、昆布やカタクチイワシ、ヒトデやホタテの貝がら、魚や鳥の骨の一部やシーグラス(ガラスの破片が波により丸くなったもの)、ロシアから流れ着いたビンやペットボトル、キラキラ光る石などが見つかりました。

当日の浜では、数日前の大しけ(天候が悪く波が高く荒れてること)で、漂着物ひょうちゃくぶつが波にさらわれてほとんどありませんでした。普段はどんな物があるのか、活動の最後に桑原さんから見せていただきました。

砂浜を見た時に、お宝ではない不要物(いわゆるゴミ)がありました。それらはしけの時に波にさらわれて、分解されず、またどこかの海岸に流れ着き決してなくなりません。みなさんが海洋ゴミについて考えるきっかけになると嬉しいです。また次回お会いしましょう♪



さあ、探すぞ〜Q



見〜つけた！ムラサキヒトデ★



キレイな石と貝がら拾ったよ★



ガラスの浮きはお宝のようです

第6回 小さな自然観察クラブ

火起こし体験

11月11日（土）に第6回小さな観察クラブ「火起こし体験」を開催しました。当日は朝から雪模様、冬の始まりを感じる日になりました。

今回は、火起こし体験としてマッチ、ライター、チャッカマン、火打石と火打ち金、まいぎり式の火起こし器と、石器時代から現代までの火起こし道具を用意しました。

まずはマッチやライターで火をつけます。博物館スタッフから使い方の説明を聞いてチャレンジ。マッチとチャッカマンは難なく火をつけることが出来ました。ライターは子どもの火遊びの防止のためにレバー部分が重くなっているため、両手を使えば着火はできますが、親指一本の力では難しいようでした。

一番の盛り上がりは、やっぱりまいぎり式の火起こし器。「テレビであばれる君がやってた」「動画で見たことある」などの声。コツを教えてもらいながら早速挑戦。火きり棒にヒモをまきつけて、板を持って上下に動かしますが、これを続けるのがとても重労働…けむりやこげくさいにおいがしてもう少し…というところまで行きましたが、今回は火種を作りことはできませんでした。いつも成功するあばれる君はすごい！そして昔の人たちの火起こしはとても大変だったことがよくわかりましたね。

火起こし体験の合間には、ねじねじパンを作りました。ねじねじパンはホットケーキミックスで簡単に作ることが出来るほのかな甘みのあるおやつです。こねた生地を手で細長く伸ばして、枝に巻き付け焼いたら出来上がり。マシュマロとウィンナーもいっしょに焼いて食べました。

さて、12月の「ものづくり体験」が小さな自然観察クラブ最後の活動です。皆さんの参加お待ちしております♪



マッチで火をつけられるかな？



火打石と火打ち金で火起こし！



火起こし器に挑戦！



ねじねじするからねじねじパン♡



ねじねじパン、焼いてます

第7回小さな自然観察クラブ

ものづくり体験

12月9日（土）に第7回小さな観察クラブ「ものづくり体験」を開催しました。

今回は、木の枝や落ち葉、木の実の材料だけではなく、10月のビーチコーミングの時に浜辺で集めた平たい石やホタテの貝殻などの漂着物を材料を加えてクラフト工作を行いました。

材料台の前で「どんなものを作ろうかな？」とマツボックリを手にとりて考えたり、キラキラしたモールなどのデコパーツをグルーガンで接着しながらもくもくと作りはじめる子の姿や、お友達と「これ使うのどう？」「こういうのもいいよね」と話しながら木の枝や貝殻を選ぶ子、気分のおもむくままに思いついたものを作ったり、じっくりと1つの作品に手をかけたりと、ものづくりの時間は、外で行う観察会では見ることでできない様子を見ることができました。中には、悩みに悩んで作った1つがハマって、その後に沢山作っている子もいましたね。机に並ぶそれぞれの作品のアイデアには、大人のスタッフたちが驚かされるものばかりでした。

さて、小さな自然観察クラブは12月で最後の活動となりました。5月からの活動はどうでしたか？4、5年生のクラブ員の皆さんは、ご参加お待ちしております！また会いましょう～。



何を使って作ろうかな？



モールを組み合わせて…



指導員さんに手伝ってもらいながら